

学会告知板

第 30 回 公益社団法人 日本網膜色素変性症協会(JRPS)研究助成のご案内

公益社団法人 日本網膜色素変性症協会 (Japanese Retinitis Pigmentosa Society, JRPS) では、網膜色素変性とその類縁疾患の治療法開発のための研究に対し助成を行っております。第 30 回の応募要項は以下の通りです。

対 象 ●網膜色素変性、網脈絡膜変性、ロービジョンに関する研究を行う研究者、または診療、教育、研究機関

研究期間 ●2026 年 4 月から 2027 年 3 月までに完結見込みの研究

助成金額 ●100 万円 2 名(うち 1 名はライオンズ賞として、40 歳以下の若手研究者を対象とします。)

応募方法 ●① JRPS 研究助成申請 受付専用サイトよりご応募ください。

② JRPS 研究助成申請 受付専用サイトでは、指定フォームに、研究代表者名(フリガナ、生年月日)、研究機関名、住所、電話番号、e-mail アドレス、研究題目、研究実施計画(1,200 字以内)、研究計画と直接関係する業績目録を記入(直接入力)してください。

③関係する論文の別冊等、フォームに直接入力する以外の提出する資料は、すべて PDF ファイルに変換したうえで、ファイルを応募サイトよりアップロードして提出してください。

締め切り ●2026 年 2 月 28 日

選考方法 ●JRPS 学術審査委員の審査に基づいて理事会で決定し、結果は 2026 年 6 月中に研究代表者にご連絡します。

学術審査委員長：三重大学大学院医学系研究科 臨床医学系講座 眼科学 教授 近藤峰生

お問い合わせ ●〒 102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-4-10 加島ビル 3 階

公益社団法人 日本網膜色素変性症協会 事務局

Tel : 03-6261-0321 / Fax : 03-6268-9308 / e-mail : info@jrps.org

ホームページ : <https://jrps.org>

学会告知板

第 29 回 公益社団法人 日本網膜色素変性症協会(JRPS)研究助成審査結果のご報告

第 29 回 JRPS 研究助成は、JRPS 学術審査委員の厳正な審査により、次の 2 件に決定いたしました(敬称略)。

[100 万円]

後藤健介(大阪大学 ヒューマン・メタバース疾患研究拠点)

「ゲノム医療実現に向けた高頻度病変変異の検証」

[ライオンズ賞 100 万円]

小野 喬(東京大学医学部附属病院 眼科・視覚矯正科)

「リン脂質リサイクル経路不全に伴う網膜色素変性のメカニズム解明と新規治療法創成」

第 258 回 O.C.C. ご案内

日 時 ●2026 年 3 月 7 日(土) 13:30~16:30

場 所 ●大阪大学中之島センター 10 階 メモリアルホール
〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島 4 丁目 3 番 53 号

テーマ ●「網膜硝子体手術 update 2026」

※話題提供者は 2025 年 12 月 31 日(水)までに下記へ FAX でお申し込みください。

連絡先 ●大阪大学大学院医学系研究科眼科学教室

Tel: 06-6879-3456 / Fax: 06-6879-3458

第 23 回近畿弱視斜視アフタヌーンセミナー案内

—弱視・斜視の基礎と最新情報シリーズ—

「弱視・斜視の基礎・臨床と最新情報—その 8—」

期 日 ●2026 年 2 月 28 日(土) 14:45~17:15

開催形式 ●Web 開催 + オンデマンド配信

講 演 ●1. 不同視・不等像視の考え方

不二門 尚(大阪大学)

2. 片眼弱視の診断と治療

野村耕治(兵庫県立こども病院)

3. 弱視斜視診療の落とし穴

下條裕史(大阪大学)

4. NDB を用いた全国調査から分かった斜視のあれこれ

宮田 学(京都大学)

5. レチノスコーピー講習会

登録料 ●医師 3,000 円, 非医師 1,000 円

主 催 ●近畿弱視斜視研究会

(遠藤高生, 不二門 尚, 木村亜紀子, 雲井弥生, 初川嘉一, 稗田 牧, 三宅三平, 宮田学, 森本 壮, 村木早苗, 増田明子, 西 智, 野村耕治, 佐々本研二, 白井久美, 下條裕史, 杉山能子, 菅澤 淳, 近江正俊, 内海 隆, 横山 連)

参天製薬株式会社

事務局 ●森本 壮(大阪大学眼科学教室)

問い合わせ窓口 ●加藤大貴(参天製薬株式会社)

Tel: 0120-310-106 / e-mail: daiki.kato@santen.com

学会告知板

第 183 回九州大学眼科研究会のご案内

日 時 ●2026 年 2 月 21 日(土) 13 時 30 分開会予定

場 所 ●九州大学医学部百年講堂大ホール

特別講演 ●中澤 徹(東北大学医学部眼科学教室, 主任教授)

林 思音(山形大学医学部眼科学講座, 助教)

一般演題募集 ●演題締切: 2025 年 12 月 12 日(金) 必着

演題名・氏名(連名の場合は演者に○)・所属・所在地をご記入ください。

○こちらで準備した PC(プレゼンテーション 1 面)で発表していただきます。

○会場で使用する PC の OS は Windows11 で、データ形式は、バージョン
PowerPoint 2007 以降となります。

○講演をされる方は前日までに、ご案内する URL(Proself)にアクセスしスライドを
アップロードしてください。

○フォントは OS に標準装備されているものでお願いいたします。

講演時間: 7 分

申込先 ●〒 812-8582 福岡市東区馬出 3 丁目 1 番 1 号

九州大学眼科学教室

医局長 塩瀬聡美

Tel : 092-642-5648 / Fax : 092-642-5663 / e-mail : oculus@med.kyushu-u.ac.jp

※研究会は日眼生涯教育事業(1 日 1.5 単位で申請予定)に認定されております。

学会告知板

第 59 回眼科臨床病理組織研究会 (第 96 回九州眼科学会 内)

期 日 ●2026 年 5 月 30 日(土)予定

会 場 ●宮崎市民プラザ

〒 880-0001 宮崎県宮崎市橘通西 1-1-2

演題募集 ●「第 59 回眼科臨床病理組織研究会」は、「第 96 回九州眼科学会」内のセッションとして開催いたします。眼腫瘍など病理組織の関連した演題を多数お寄せください。

なお、参加にあたりましては、九州眼科学会への参加登録が必要となります。

演題登録・参加登録は「第 96 回九州眼科学会」の HP よりお願いいたします。

演題登録期間: 第 96 回九州眼科学会の演題募集の締め切り日

演題採用決定後、発表症例の標本(H-E 染色)を事務局にお送りいただきます。

詳細につきましては、日本眼病理研究会事務局にお問い合わせください。

連絡先 ●日本眼病理研究会事務局

〒 812-8582 福岡県福岡市東区馬出 3-1-1

九州大学眼科

担当 吉川: yossykp@mac.com

沖崎: okizaki.fumie.435@m.kyushu-u.ac.jp

Tel : 092-642-5648 / Fax : 092-642-5663

**公益信託 須田記念緑内障治療研究奨励基金
2025 年度 募集要項**

公益信託 須田記念緑内障治療研究奨励基金は、熊本大学において眼科学の指導研究、特に緑内障の研究・治療に永年尽くされました故須田経字名誉教授により設立されました。緑内障またはその治療に関する優れた研究を助成するため、下記要項により助成金交付申請を募集いたします。

1. 助成対象

緑内障に関する研究全般を対象とし、申請された研究課題に助成します。

2. 応募資格

- ① 日本眼科学会会員である者
- ② 申請時において年齢 45 歳以下の者
- ③ 緑内障を専攻し、臨床・研究を継続する意志のある者
- ④ 緑内障治療研究に実績のある者
- ⑤ 日本国籍を有する者
- ⑥ 自薦・他薦は問わない

3. 選考基準

- ① 研究計画が優れたものであり、かつ研究者の過去の実績等に照らし優れた成果が期待できること。
- ② 申請目的が緑内障治療研究に関するものであり、その資金使途が明確であること。
- ③ 申請内容に照らして、助成金の使途予定が適正であること。
- ④ 選考委員が申請者の遂行能力の高さを評価できること。
- ⑤ 選考委員が申請者の緑内障治療研究への貢献意欲の高さを認めることができること。

4. 助成件数および金額

1～3 件 総額 300 万円

(1 件あたり 100 万円を標準とします。)

- ・助成金を大学等の委任経理における間接経費に充当することはできません。
- ・学会参加費および旅費への支出は助成金額の 2 割以内に止めるものとします。

5. 応募方法

当基金所定の申請書に必要事項を記入し、後記宛先へご提出ください。申請書は後記照会先記載の URL からダウンロードしてください。なお、応募書類は返却いたしませんのでご了承ください。

6. 応募期間

2025 年 11 月 4 日(火)～2025 年 12 月 24 日(水)(当日消印有効)

7. 選考方法および通知

募集締切後に開催する当基金運営委員会において選考決定のうえ、2026 年 3 月上旬に申請者に書面でその結果をお知らせします。

なお、助成対象者の氏名・所属等につきましては、公表させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

助成金は、指定の銀行口座等(本人名義限定)へお振り込みします。

8. 助成金使用報告

助成対象の研究終了後、2026 年 12 月末までに次の書類を受託者宛に提出していただきます。

- ① 助成金使用報告書(領収証等の確証を添付ください。)
- ② 研究結果概要報告書(A4 縦判用紙 3 枚程度、様式自由)

学会告知板

【申請書の提出先・照会先】

<郵送先>〒105-8574 東京都港区芝3-33-1

三井住友信託銀行 個人資産受託業務部 公益信託チーム

須田記念緑内障治療研究奨励基金 申請口

<電子メール宛先>申請書受付専用メールアドレス「kouekidenshi@smtb.jp」

※申請書受付後、メールにてご連絡いたします。1週間経っても連絡がない場合は、
お手数ですが下記電話番号宛お問い合わせください。提出に際し下記【電子メール
申請における留意事項】を確認のうえご提出ください。

<電話番号>03-5232-8910(受付：平日9時～17時)

<申請書掲載 URL><https://www.smtb.jp/personal/entrustment/public/example/list>

HP 検索：

【電子メール申請における留意事項】

- ・電子メール宛先は、申請書受付専用メールアドレス「kouekidenshi@smtb.jp」宛、ご送信ください。
- ・メールの件名冒頭は必ず、【須田緑内障基金・〇〇〇(←申請者名)】と表記ください。
(この表記がない場合、受付できない場合がありますのでご注意ください。)
- ・書式は WORD, EXCEL, PDF 形式で、メールに添付してください。なお、郵便との併用は受付できません。
- ・電子メール1本あたりの容量は、必ず20MB以下としてください。容量が20MBを超える場合は、
メールを分割してご送信いただく等のご対応をお願いします。
- ・セキュリティ管理上、パブリックのファイル転送サービスはご使用いただけませんのでご注意ください。

(※)公益信託とは

個人の方が公益活動のために財産を提供しようという場合や、法人が利益の一部を社会に還元しようという場合などに、信託銀行に財産を信託し、信託銀行は公益信託契約で定められた公益目的に従ってその財産を管理・運用し、公益活動を行う制度です。

公益信託 須田記念緑内障治療研究奨励基金 令和6年度(第38期)助成対象者のご報告

令和6年度は、多くの応募者のなかから厳正なる審査の結果、下記の方々に、研究助成金として各100万円を給付し、「第36回日本緑内障学会」で報告いたしました。

1. 松尾将人(岐阜大学大学院医学系研究科 医科学専攻感覚運動医学講座 眼科学)
正常加齢とフロア効果が緑内障の進行性視神経乳頭周囲構造変化に与える影響の解析
2. 清田直樹(東北大学大学院医学系研究科 眼科学分野)
緑内障病態への血管シグナリングの寄与についての探求
3. 秋山雅人(九州大学大学院医学研究院 眼病態イメージング講座)
落屑症候群における原発開放隅角緑内障の遺伝的リスクの影響

公益信託 須田記念緑内障治療研究奨励基金

運営委員長 新家 眞

信託管理人 井上立州

The 28th IRSJ(2025) 第24回眼科臨床機器研究会 ジョイントセミナー

会 期 ●2025 年 11 月 29 日(土) 12:30~17:00

会 場 ●横浜シンポジア

〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル9階
Tel: 045-671-7151

会 長 ●ジョイントセミナー: 清水公也(山王病院アイセンター)

The IRSJ: 神谷和孝(昭和医科大学保健医療学部)

眼科臨床機器研究会: 庄司信行(北里大学)

プログラム ●The 28th IRSJ(2025) 12:30~13:50

オーガナイザー: 川守田拓志(北里大学・医療衛生)

メインテーマ「白内障手術と患者満足度の科学」

モデレーター: 神谷和孝, 川守田拓志

「「見える」への期待に応えるための術前検査とコミュニケーション」

竹原弘泰(井上眼科)

「高い満足度を得るための眼内レンズ度数決定」

後藤 聡(大阪大学)

「白内障手術と患者満足度の科学~満足度向上のための工夫とアプローチ~」

飯田嘉彦(北里大学)

第24回眼科臨床機器研究会 14:00~17:00

※日本眼科学会専門医認定事業(12745)申請中

【講演Ⅰ】「近年の隅角検査機器」

モデレーター: 笠原正行(北里大学)

①緑内障手術前後の隅角評価

芝 大介(慶應義塾大学)

②CASIA2 Advance の有用性

上野勇太(筑波大学)

③SOLIX Essential の使用経験

後藤祐一郎(北里大学)

【講演Ⅱ】「画像鮮明化テクノロジー MIEr[®]」

モデレーター: 飯田嘉彦(北里大学)

①MIEr[®]の鮮明化: アルゴリズムとその応用

井上宏一(株式会社ロジック・アンド・デザイン)

②画像鮮明化ソフトウェア MIEr[®]を活用した糖尿病網膜症診断

武内 潤(名古屋大学医学部附属病院眼科)

③MIEr[®]×Heads-Up Surgery~白内障手術における画像鮮明化~

横関祐佳子(北里大学)

【講演Ⅲ】「近視抑制の新時代~新しいアプローチと管理の実践~」

モデレーター: 平澤一法(北里大学)

①近視進行メカニズムの分子細胞レベルでの解明を目指して

栗原俊英(慶應義塾大学)

②眼科病院における近視進行抑制療法の管理と実践

高橋慎也(小沢眼科内科病院)

③最新の検査技術を活用した近視管理と実践
松村沙衣子(東邦大学)

申込み方法 ● 下記 URL よりもしくは QR コードよりご確認ください。

<https://ws.formzu.net/fgen/S71394019/>



主 催 ● 北里大学眼科

連絡先 ● 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 2-4-7

スタッフルームタケムラ(有)内

IRSJ・眼科臨床機器研究会ジョイントセミナー事務局

Tel : 03-5287-3801 / Fac : 03-5287-3802 / e-mail : rssympo@staffroom.jp

第 130 回日本眼科学会総会

会 期 ●2026 年(令和 8 年) 4 月 9 日(木)～ 12 日(日)

会 場 ●福岡国際会議場/〒 812-0032 福岡市博多区石城町 2-1

マリンメッセ福岡 A 館/〒 812-0031 福岡市博多区沖浜町 7-1

マリンメッセ福岡 B 館/〒 812-0031 福岡市博多区沖浜町 2-1

総会長 ●園田康平(九州大学大学院医学研究院 眼科学分野, 教授)

副総会長 ●吉富文昭(福岡県眼科医会, 会長)

プログラム委員長 ●平岡孝浩(筑波大学医学医療系眼科, 准教授)

テーマ ●夢見るまなざし

主 催 ●公益財団法人日本眼科学会

主管校 ●九州大学大学院医学研究院 眼科学分野

〒 812-8582 福岡県福岡市東区馬出 3-1-1

Tel : 092-642-5648 / Fax : 092-642-5663

事務局長 : 村上祐介

演題募集 ●締め切りました。

参加登録 ●事前参加登録 : 2025 年 10 月 1 日(水)～2026 年 2 月 20 日(金)

追加参加登録 : 2026 年 2 月 21 日(土)～オンデマンド配信(単位取得可能期間)終了まで
※今回の事前参加登録は, オンラインクレジットカード決済またはコンビニ決済での
オンライン登録のみです。郵便振替登録は行いませんのでご注意ください。

プログラム ●特別講演 1 : 大野京子(東京科学大)

特別講演 2 : 柏木賢治(山梨大)

代議員会指名講演 : 「小児眼科の進歩」

仁科幸子(国立成育医療研究センター), 近藤寛之(産業医大), 福岡葉子(大阪大)

招待講演 1 : Caroline Klaver (Erasmus Univ. Rotterdam, Netherlands)

招待講演 2 : Andrew D. Dick (UCL and Univ. of Bristol, UK)

シンポジウム<総会長枠> :

「アジアにおける眼科遠隔医療と公衆衛生」(日中韓眼科ジョイントシンポジウム 1)

「アジアにおける国際共同研究のあり方と展望」(日中韓眼科ジョイントシンポジウム 2)

「難病の治療が変わる! これからのゲノム科学とプレジジョン医療」

「チームアジアから発信する眼科新知見!!」

教育セミナー :

「臨床研究の基本」「眼科感染制御 ファクトチェック」「眼科診療に MRI は必要だ!」

「前眼部 OCT マスターを目指そう!」「先手必勝! 眼腫瘍 ～まず何を考え何をすべき

か～」「ERG をもっと臨床に役立てよう」「徹底解説! 乳幼児診察の基本手技と診療ボ

イント～目の前の赤ちゃん, あなたはどう診る?～」「遺伝学の最前線～JOS/JSHG

ジョイントセッション～」「日本型バイオイノベーションの進化: 産官学の協創戦略」

「専門医志向者トレーニングコース」

International Symposium :

<炎症・感染・アレルギー> 「Current Topics in Ocular Immunology and Uveitis」

<角結膜> 「The Cutting Edge of Corneal Research: Bridging Bench and Bedside」

サブスペシャリティサウンダー :

<前眼部疾患> 「もっと知ろう! 眼瞼炎」「多焦点眼内レンズの Now and in the

Future」 「新しい治療でどう変わる? 角膜移植術の適応」

＜緑内障・視神経症＞「視神経疾患診断治療の不易流行」「緑内障診断の不易流行」
「緑内障治療の不易流行」

＜後眼部疾患＞「Lamellar macular hole 類緑疾患への理解」「裂孔原性網膜剝離の治療を極める」「RVO, DME の薬物治療の最前線」

＜小児眼科・眼腫瘍・視機能＞「それって本当にその病気？ ～専門家たちの事件簿～」
「AIに負けない眼科サブスペシャリティ」「ロービジョンケアを再構築する」
スキルトランスファー:

「眼科基礎研究スキルトランスファー～躍進する女性研究者の研究スタイルに学ぶ～」

The International Crosstalk Symposium by Young Ophthalmologists

Young Ophthalmologists Committee シンポジウム

一般講演, 学術展示, 専門医制度講習会, オルソケラトロジー講習会, 屈折矯正手術講習会, 共催セミナー(モーニング, ランチョン, アフタヌーン, イブニング, フェアウェル), (一社)日本眼科医療機器協会併設機器展示, 市民公開講座「難病と視覚障害」
※詳細は随時ホームページにて公開させていただきます。

ホームページ ● <https://www.congre.co.jp/130jos/>

運営事務局 ● 〒 810-0001 福岡県福岡市中央区天神 1-9-17-11F

株式会社コングレ 九州支社

Tel : 092-718-3531 / Fax : 092-716-7143 / e-mail : 130jos@congre.co.jp

お問い合わせ等ありましたら, 運営事務局までお問い合わせください。

公益財団法人 高齢者眼疾患研究財団
2025 年度「研究助成」応募のご案内

財団法人 高齢者眼疾患研究財団は 1993 年に、高齢者の視力障害をきたす疾患に関する調査・研究・国際協力等を行い、国民の健康の増進および眼科学の進歩に寄与することを目的に設立しました。

その後 2013 年に、内閣総理大臣の認定を受け、公益財団法人 高齢者眼疾患研究財団となりました。

当財団は活動の一環として、「悪性糖尿病網膜症等高齢者の視力障害をきたす疾患の予防および治療に関する調査研究」に対し下記の要件にて研究助成を実施しております。

対 象 ●悪性糖尿病網膜症等高齢者の視力障害をきたす疾患の予防および治療に関する調査研究(個人研究、共同研究可)

資 格 ●応募者の職務は常勤が望ましい

研究期間 ●2026 年 4 月から 2027 年 3 月までに完結見込みの研究

助成金額 ●1 件 100 万円

締め切り ●2025 年 12 月 15 日 必着

応募方法 ●申請書等用紙は、返信用封筒(210 円切手貼付)を同封のうえ、本財団に請求すること
※申請書をデータで請求する場合、本財団ホームページ(www.rfeda.or.jp/)の研究助成事業よりダウンロードすること

応募書類請求先/送付先 ●公益財団法人 高齢者眼疾患研究財団
〒 250-0042 神奈川県小田原市荻窪 1772 番地
佐伯眼科クリニック内 事務局：馬場華子
TEL：0465-32-7526
FAX：0465-32-1177

選考方法 ●高齢者眼疾患研究財団助成選考委員会の審査に基づいて理事会で決定する。結果は 2026 年 2 月末以降に研究代表者に連絡する

助成金の交付 ●助成決定者に対し、2026 年 3 月以降に交付する

研究結果発表 ●研究終了 1 年以内に研究実績報告書を提出すること
※研究成果を学術雑誌に発表する際には、高齢者眼疾患研究財団の研究助成を受けていることを明示すること

その他 ●助成対象事業に係る収入および支出を明らかにした帳簿(証拠書類を含む)を備えること

公益財団法人 高齢者眼疾患研究財団
〒 250-0042 神奈川県小田原市荻窪 1772 番地
TEL：0465-32-7526
FAX：0465-32-1177
ホームページ：www.rfeda.or.jp/
理事長 佐伯宏三